

時代を読み解く

シリーズ 34

ロシアの侵略と NATO の対応

2022年2月24日、ロシアによるウクライナ侵略が始まった。これに対する NATO の対応は迅速だった。侵略の初日には、NATO 即応部隊(NRF)が北大西洋条約機構(NATO)に要請し、北大西洋理事会に基づき緊急の協議を要請し、北大西洋条約第4条に基づき緊急の協議を要請し、北大西洋理事会は防衛計画の発動を決定した。それに伴い、「NATO 即応部隊(NRF)」が北大西洋地域の集団防衛組織として当然に思えるが、実際はさまざまな改革を経た結果でもあった。

冷戦後、NATO 加盟国は地理的に拡大したものの、その活動は域外でのものが多く、欧州防衛は形骸化したとも言える状況だった。それを変えたのが、14年のロシアによるクリミア併合とそれに続くウクライナ東部における紛争だ。14年以降、NATO は欧州防衛の改革を始めた。まずは、NRF を4万人態勢まで拡充しつつ、「高度即応統合任務部隊」を創設し、それを支える計画や戦術を策定し、欧州防衛の態勢を拡大した。NATO は22年に

ロシアの8カ国(バルト3国、ポーランド、チェコ、スロバキア、ルーマニア、ブルガリア)が北大西洋条約第4条に基づき緊急の協議を要請し、北大西洋理事会は防衛計画の発動を決定した。それに伴い、「NATO 即応部隊(NRF)」が北大西洋地域の集団防衛組織として当然に思えるが、実際はさまざまな改革を経た結果でもあった。

2003年の結成以来、初めて加盟国の防衛のために動員されたほか、以降も NATO は抑止・防衛態勢を強化している。こうした NATO の対応は、北大西洋地域の集団防衛組織として当然に思えるが、実際はさまざまな改革を経た結果でもあった。

NATO の抑止・防衛態勢改革

—現状と課題—

2003年の結成以来、初めて加盟国の防衛のために動員されたほか、以降も NATO は抑止・防衛態勢を強化している。こうした NATO の対応は、北大西洋地域の集団防衛組織として当然に思えるが、実際はさまざまな改革を経た結果でもあった。

冷戦後、NATO 加盟国は地理的に拡大したものの、その活動は域外でのものが多く、欧州防衛は形骸化したとも言える状況だった。それを変えたのが、14年のロシアによるクリミア併合とそれに続くウクライナ東部における紛争だ。14年以降、NATO は欧州防衛の改革を始めた。まずは、NRF を4万人態勢まで拡充しつつ、「高度即応統合任務部隊」を創設し、それを支える計画や戦術を策定し、欧州防衛の態勢を拡大した。NATO は22年に



今月の講師
田中 亮佑氏

防衛研究所 地域研究部
米欧ロシア研究室 研究員

1992(平成4)年生まれ、東京都出身。慶應義塾大学総合政策学部卒業、ロンドン大学政治経済学院(LSE)国際関係学部大学院修士課程修了。2019年防衛研究所入所。専門は欧州の安全保障。主な論文に「NATO の改革からみるバルト海地域防衛の変化——2014年と2022年を契機として」『安全保障戦略研究』(第3巻第2号、2023年3月)、「NATO の対中政策の可能性と限界——同盟機能からの検討」『国際安全保障』(第49巻第3号、2021年12月)などがある。

冷戦後、NATO 加盟国は地理的に拡大したものの、その活動は域外でのものが多く、欧州防衛は形骸化したとも言える状況だった。それを変えたのが、14年のロシアによるクリミア併合とそれに続くウクライナ東部における紛争だ。14年以降、NATO は欧州防衛の改革を始めた。まずは、NRF を4万人態勢まで拡充しつつ、「高度即応統合任務部隊」を創設し、それを支える計画や戦術を策定し、欧州防衛の態勢を拡大した。NATO は22年に

テーマをさらに深掘り 「防研セミナーブリーフィング」

執筆者の田中研究員が今回のテーマをさらに深掘りして解説し、防衛省職員と突っ込んだ議論を行う「防研セミナーブリーフィング」が11月22日(金)午後3時~4時まで、市ヶ谷のF1棟6階「国際会議場」で開催されます。参加者は隊員に限定してご参加ください。ご興味ある方は奮ってご参加ください。▽問い合わせ=防研企画調整課03-3268-3111(内線29177)まで。

ポーランドとバルト3国勢を再構築してきた。その強化された前方展開(EFP)として大隊規模の戦闘群を配備した。さらに、増援態勢を拡充しつつ、「統合司令部JFC」を既存のブルンサム(蘭)とナポリ(伊)に加えてノーフォーク(米)にも開設し、ウルム(独)にも兵站を担当する統合支

勢を再構築してきた。その強化された前方展開(EFP)として大隊規模の戦闘群を配備した。さらに、増援態勢を拡充しつつ、「統合司令部JFC」を既存のブルンサム(蘭)とナポリ(伊)に加えてノーフォーク(米)にも開設し、ウルム(独)にも兵站を担当する統合支

勢を再構築してきた。その強化された前方展開(EFP)として大隊規模の戦闘群を配備した。さらに、増援態勢を拡充しつつ、「統合司令部JFC」を既存のブルンサム(蘭)とナポリ(伊)に加えてノーフォーク(米)にも開設し、ウルム(独)にも兵站を担当する統合支

勢を再構築してきた。その強化された前方展開(EFP)として大隊規模の戦闘群を配備した。さらに、増援態勢を拡充しつつ、「統合司令部JFC」を既存のブルンサム(蘭)とナポリ(伊)に加えてノーフォーク(米)にも開設し、ウルム(独)にも兵站を担当する統合支

勢を再構築してきた。その強化された前方展開(EFP)として大隊規模の戦闘群を配備した。さらに、増援態勢を拡充しつつ、「統合司令部JFC」を既存のブルンサム(蘭)とナポリ(伊)に加えてノーフォーク(米)にも開設し、ウルム(独)にも兵站を担当する統合支

勢を再構築してきた。その強化された前方展開(EFP)として大隊規模の戦闘群を配備した。さらに、増援態勢を拡充しつつ、「統合司令部JFC」を既存のブルンサム(蘭)とナポリ(伊)に加えてノーフォーク(米)にも開設し、ウルム(独)にも兵站を担当する統合支

勢を再構築してきた。その強化された前方展開(EFP)として大隊規模の戦闘群を配備した。さらに、増援態勢を拡充しつつ、「統合司令部JFC」を既存のブルンサム(蘭)とナポリ(伊)に加えてノーフォーク(米)にも開設し、ウルム(独)にも兵站を担当する統合支